

PROFILE



箏 **吉澤延隆*** (箏・十七絃箏・二十絃箏奏者)

*東京文化会館ワークショップ・リーダー

YOSHIZAWA Nobutaka, KOTO

1982年 栃木県宇都宮市生まれ。7歳より、和久文子のもとで箏を始める。

2006年 平成18年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員として、箏、十七絃箏を菊地梯子、沢井一恵、福永千恵子、地歌三絃を芦垣美穂、アナリーゼを作曲家・嶋津武仁各氏のもとで学ぶ。

2007年 東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修了。

2008年 第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて第1位・賢順賞を受賞。

2009年 宇都宮市より「うつのみや市民賞」を受賞。

2011年 活躍が期待される芸術家に贈られる第10回「宇都宮エスパー賞」を宇都宮市より受賞。

2016年 栃木県「とちぎ未来大使」に就任。

これまでにNHK教育TV芸能花舞台「今かがやく若手たち」での全国放送や、翻案劇「サロメ」（主催：テレビ朝日／出演：篠井英介、森山開次、江波杏子、上條恒彦）の全国公演での十七絃箏演奏を担当。

またフランス、オーストリア、イギリス、フィンランド、ポルトガル、アメリカ、トルコ、韓国など海外でも公演を行っており、近年では飛鳥Ⅱワールドクルーズやニューイヤークルーズでの船上公演にも出演している。

現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。東京文化会館ワークショップ・リーダー。日本・フィンランド新音楽協会会員。